

このたびは、ユニットケースをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
この取扱説明書はお読みにになりましたら大切に保管し、後日分からないことがあれば再びご覧ください。

- 本機はユニペックス 業務用放送設備のユニットケースです。
- 別売ユニットを組み込むことができます。
 - ・FM/AMラジオチューナーユニット (AU-100) ・CDプレーヤーユニット (AU-203/AU-204)
 - ・300MHz帯ワイヤレスチューナーユニット (AU-300) ・SDレコーダーユニット (AU-500)
 - ・800MHz帯ダイバシティワイヤレスチューナーユニット (AU-800)

目次

安全上のご注意	1~3
設置・使用上のご注意	4
各部の名称と説明	5
別売ユニットの組み込みについて	6~7
優先出力ジャックについて	8
別売の平衡入力トランスLT-16Aの取付方法	9
接続例	9
定格	10
外観寸法図	10
サポートのご案内	12
保証書	12

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐためケースに通気孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

○本機を横倒しや逆さま、あお向けにする。○本機を押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。

○テーブルクロスを掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する



定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナ線、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。



電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）販売店などに交換をご依頼ください。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



4cm以上の間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。





警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

重量に耐える取り付け、設置をする

取り付け、設置の場所や方法が不適切な場合、落下や転倒などでけがの原因となります。取り付けは販売店に依頼してください。



湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



本機を電源コンセントの近くに置いて使用する

万一の事故防止のため、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにして使用してください。



濡れた手で、電源コードを抜き差ししない

感電の原因となります。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



移動するときは、コード類を傷つけない

火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。



この機器に乗ったり、ぶらさがったり、足場代わりにしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器などの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら必ず端子盤カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。



1年に1回程度は、内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



設置・使用上のご注意

- 次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
 - ・ 使用温度範囲をこえる-10℃以下、+60℃以上の場所／使用湿度範囲をこえる85%以上の場所／屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／亜硫酸ガスやアンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所／激しい振動や衝撃が発生する場所
- 本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
 - ※ 高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

遮断装置について

- 本機は電源プラグが遮断装置になります。
- 本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くに設置してください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ① お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ② 本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③ 本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ① 煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ② 電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③ 本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④ 電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明

■前面

ユニット取付ねじ(4本)

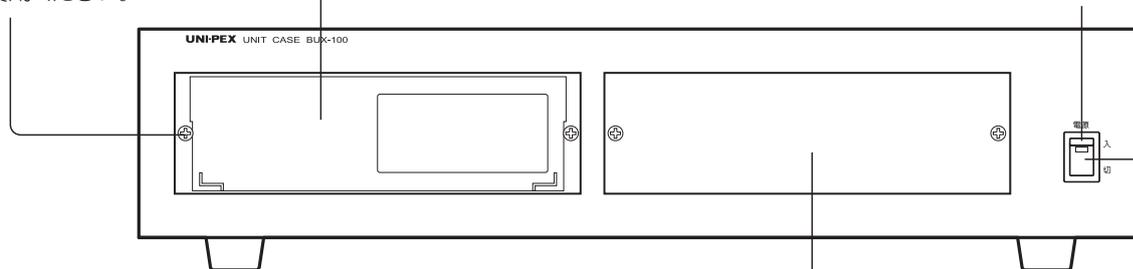
別売のユニットの取り付けには、両端の取付ねじをはずして、ご使用ください。

ユニット左入力

別売のユニットを組み込むことができます。右記の「別売ユニットの組み込みについて」の説明をご覧ください。組込方法についてはそれぞれのユニットの取扱説明書をご覧ください。

電源表示灯(緑)

電源スイッチの上側を押し込みますと緑色に点灯します。



ユニット右入力(ブランクパネル)

別売のCDプレーヤーユニットAU-203/AU-204、SDレコーダーユニットAU-500を組み込むことができます。6頁の「別売ユニットの組み込みについて」の説明をご覧ください。組込方法についてはそれぞれのユニットの取扱説明書をご覧ください。

■ご注意

ユニット右入力にはチューナーユニットは取り付けられません。

電源スイッチ

電源を入れるときは、このスイッチの上側を押し込んでください。切るときは、下側を押ししてください。

■後面

ブランクパネル

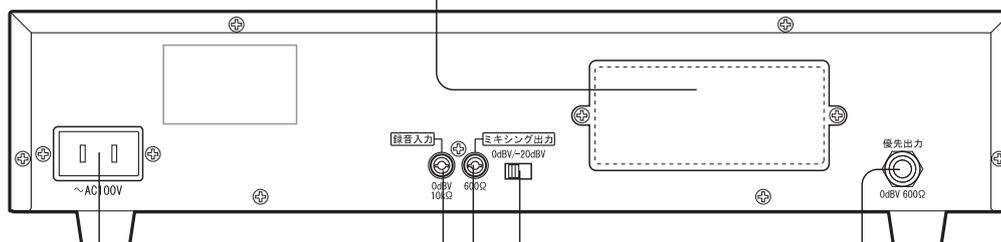
(チューナーユニットアンテナコネクタ部)

ユニット左入力に別売のチューナーユニットを取り付ける前に必ず、両端のねじ2本をはずしこのパネルを取りはずしてください。この部分にアンテナコネクタ部が出てきます。アンテナの接続方法については、各チューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。

■ご注意

下記チューナーユニットをユニット左入力に挿入する前に、必ずこのブランクパネルを取りはずしてください。

- ・FM/AMラジオチューナーユニット AU-100
- ・300MHz帯ワイヤレスチューナーユニット AU-300
- ・800MHz帯ワイヤレスチューナーユニット AU-800



AC電源入力端子

付属のAC電源ケーブルを使用し、ACコンセントに接続してください。

警告 付属又は指定の接続コード以外はご使用にならないでください。火災・感電の原因になります。

録音入力ピンジャック

(0dBV 10kΩ 不平衡)

SDレコーダーユニットAU-500を組込時に録音する場合はプレーヤーなどの機器を接続してください。

ミキシング出力ピンジャック

(0dBV/-20dBV 平衡)

ユニットの出力はこのミキシング出力ピンジャックより出力されます。接続する機器に合わせて出力レベル切換スイッチを設定してください。また、ユニット(AU-100を除く)側の設定変更により優先出力ジャックよりの出力に切り換えることも可能です。詳しくは8頁の「優先出力ジャックについて」をご覧ください。

優先出力ジャック

(0dBV 600Ω 不平衡)[平衡入力トランス取付可能]

ユニット(AU-100を除く)の出力をこの優先出力ジャックより出力させる場合は、ユニット側基板上のジャンパーピンを「優先」側に差し換えてください。出力レベルは本機内部のジャンパー切換で-20dBV/-50dBVに変更可能です。詳しくは8頁の「優先出力ジャックについて」をご覧ください。



■船舶用で使用時のご注意

優先出力ジャックを使用される場合は、必ず平衡入力トランスLT-16Aを取り付けてください。破損の原因となることがあります。

ミキシング出力レベル切換スイッチ

(0dBV/-20dBV)

0dBV/-20dBV ミキシング出力ピンジャックに接続する機器に合わせて切り換えてください。



別売ユニットの組み込みについて

ユニット左入力

- ユニット左入力には下表のユニットを組み込むことができます。ユニット1台のみを組み込む場合は、ブランクパネルのないこの取付部に取り付けてください。取り付け前には、必ず取付部両端の取付ねじをはずしてください。はずしたねじはユニットの取り付けにご使用ください。

■ユニット左入力適合ユニット

品番	品名
AU-100	FM/AMラジオチューナーユニット
AU-203/AU-204	CDプレーヤーユニット
AU-300	300MHz帯シングルワイヤレスチューナーユニット
AU-500	SDレコーダーユニット
AU-800	800MHz帯ダイバシティワイヤレスチューナーユニット

ユニット右入力

- 本機にユニットを2台取り付ける場合はユニット右入力に下表のユニットを組み込むことができます。組込方法についてはそれぞれのユニットの取扱説明書をご覧ください。

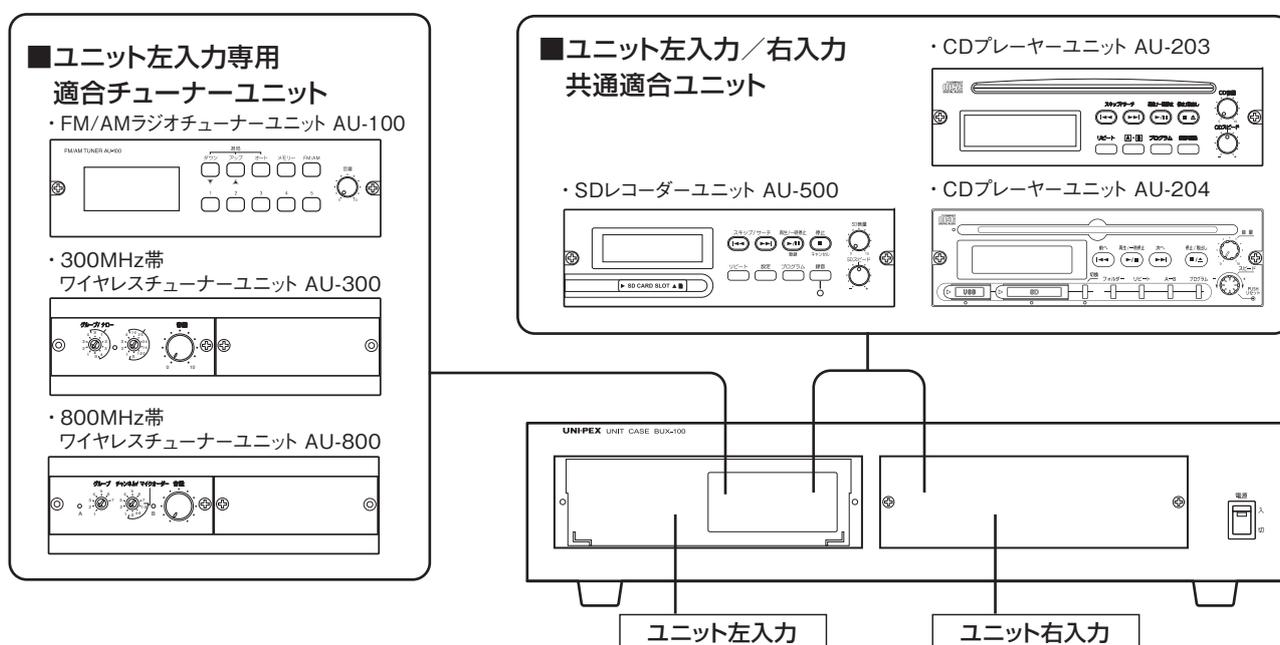
■ユニット右入力適合ユニット

品番	品名
AU-203/AU-204	CDプレーヤーユニット
AU-500	SDレコーダーユニット

- 組込方法についてはそれぞれのユニットの取扱説明書をご覧ください。

チューナーユニット組込時のご注意

- ユニット右入力にはチューナーユニットは組み込みできません。本機にチューナーユニットを組み込む場合は、ユニット左入力にチューナーユニットを優先して組み込んでください。
- チューナーユニットをユニット左入力に挿入する前に、必ず後面のブランクパネルを取りはずしてください。



FM/AMラジオ
チューナーユニット CDプレーヤーユニット CDプレーヤーユニット SDレコーダーユニット

AU-100+AU-203、AU-204またはAU-500の組み合わせでご利用の場合

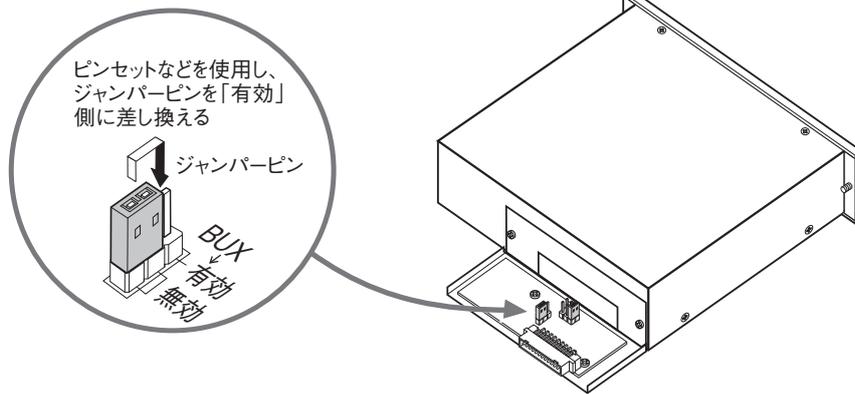
- 上記の組合せの場合でAU-203、AU-204またはAU-500の電源が「ON」のときにAU-100の電源が入りますと、AU-203、AU-204またはAU-500の電源は自動的に「OFF」になります。AU-203、AU-204またはAU-500を使用するときは、必ずAU-100の音量調節つまみを「切」位置にしてください。

CDプレーヤーユニットAU-204を組み込む場合

- AU-204後部の基板上的ジャンパーピンをBUX接続「有効」側に差し換えてください。(図1参照)
- 工場出荷時にジャンパーピンはBUX接続「無効」に設定しています。

⚠警告 ●火災、感電、けが、故障の原因となります。組込の設定変更は、必ず販売店などにご依頼ください。

図 1



注意... ジャンパーピンを接続しないと音声が出力されません。ジャンパーピンを紛失しないようご注意ください。

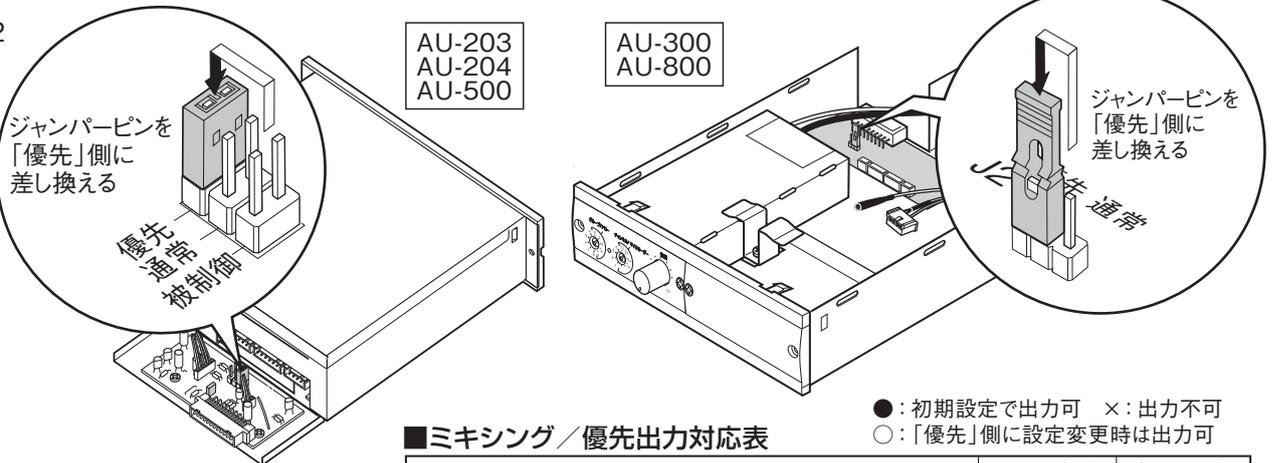
優先出力ジャックについて

ユニット(AU-100を除く)の出力を優先出力ジャックより出力する場合

- ユニット(AU-100を除く)の出力を優先出力ジャックより出力させる場合は、ユニットの基板上のジャンパーピンを「優先」側に差し換えてください。詳しくはユニットの取扱説明書をご覧ください。(図2参照)

警告 ●火災、感電、けが、故障の原因となります。優先の設定変更は、必ず販売店などにご依頼ください。

図 2



ご注意)

優先出力ジャックはラジオチューナーユニット AU-100には対応しません。(右記出力対応表参照)

■ミキシング／優先出力対応表

ユニット		ミキシング出力	優先出力
AU-100	FM/AMラジオチューナーユニット	●	×
AU-203/AU-204	CDプレーヤーユニット	●	○
AU-300	300MHz帯シングルワイヤレスチューナーユニット	●	○
AU-500	SDレコーダーユニット	●	○
AU-800	800MHz帯ダイバシティワイヤレスチューナーユニット	●	○

●：初期設定で出力可 ×：出力不可
○：「優先」側に設定変更時は出力可

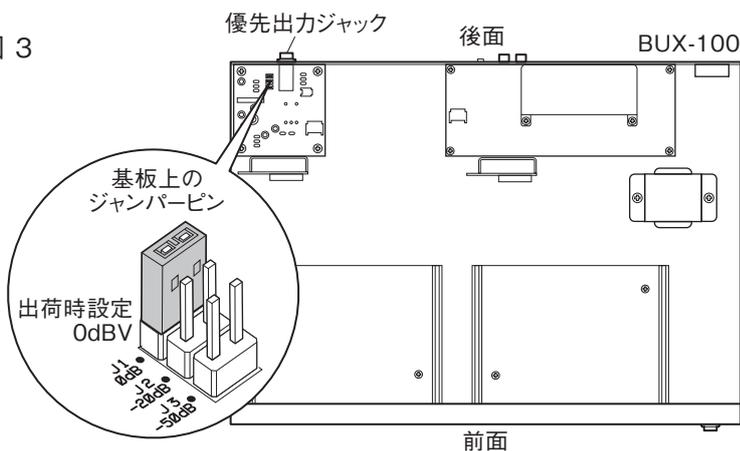
優先出力ジャックの出力レベルの変更のしかた

- 優先出力ジャックの出荷時の出力レベルの設定は0dBV、600Ωです。出力レベルを変更する場合は内部のジャンパーピンを-20dBV、または-50dBV側に差し換えてください。(図3、4、5参照)

警告 ●火災、感電、けが、故障の原因となります。出力レベルの変更は、必ず販売店などにご依頼ください。

- ①本機のカバーを止めているねじ(9本)をはずして開けてください。
- ②後面の優先出力ジャックの内側にある基板上的ジャンパーピンを変更する出力レベル側に差し換えてください。(図3、4、5参照)
- ③カバーを取り付けてください。(取付ねじは必ず、①でははずしたねじを使用してください。)

図 3

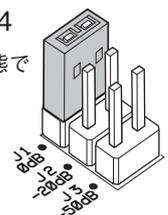


■設定例

- BXシリーズアンプのライン2入力ジャック (-2dBV 600Ω 不平衡)へ接続する場合

図 4

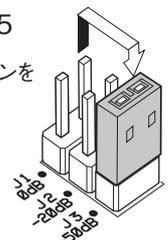
0dBV(出荷時設定)の状態でご使用ください。



- BEシリーズアンプのマイク1入力ジャック (-62dBV/600Ω 電子平衡)へ接続する場合

図 5

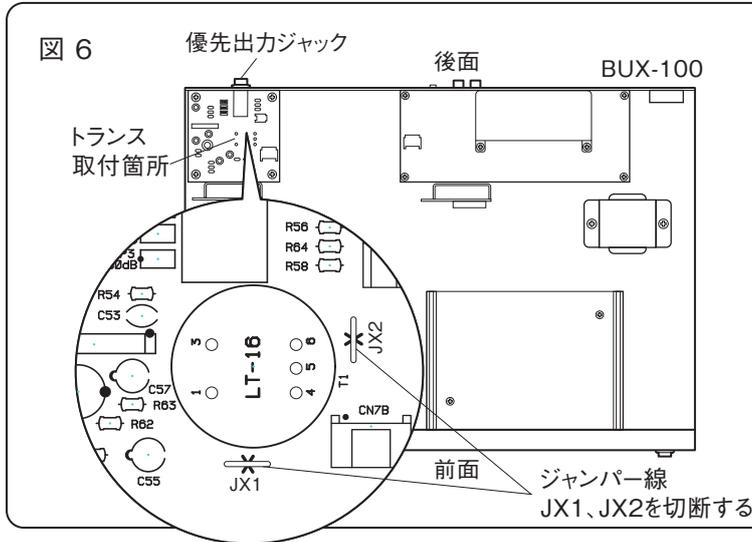
-50dBV側にジャンパーピンを差し換えてご使用ください。



別売の平衡入力カトランスLT-16Aの取付方法

●本機の優先出力には別売の平衡入力カトランスLT-16Aを取り付けることができます。(図6参照)

警告 ●火災、感電、けが、故障の原因となります。平衡入力カトランスLT-16Aの取付は、必ず販売店などにご依頼ください。



■取付方法

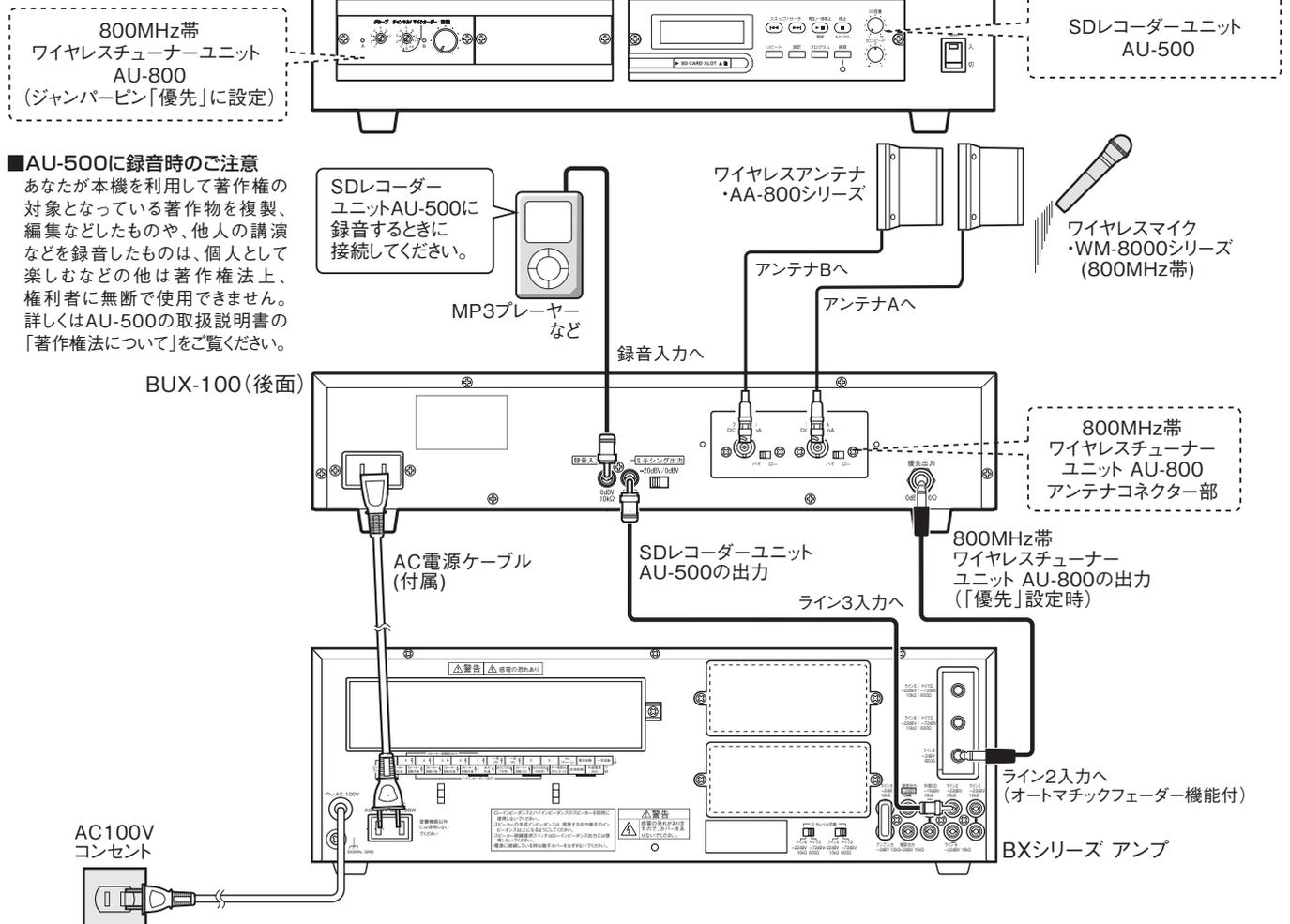
- ①本機のカバーを止めているねじ(9本)をはずして開けてください。
- ②ジャンパー線(JX1, JX2)を切断し、平衡入力カトランスLT-16Aをハンダ付けしてください。
- ③カバーを取り付けてください。(取付ねじは必ず、①ではずしたねじを使用してください。)
(図6参照)

船舶用で使用時のご注意
優先出力ジャックを使用される場合は、必ず平衡入力カトランスLT-16Aを取り付けてください。破損の原因となることがあります。

接続例

●BXシリーズアンプとの接続例です。ワイヤレスマイク使用時にはオートマッチクフェーダー回路が働きます。AU-800の「優先」設定については8頁の説明をご覧ください。(図7参照)

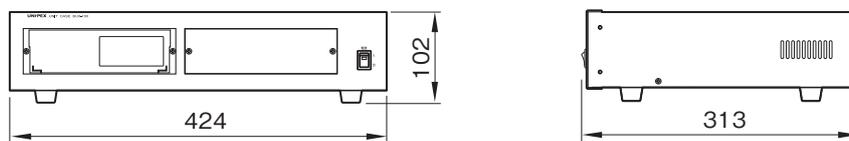
図7 BUX-100(前面)



定格

使用電源電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	27W(電気用品安全法に基づく)
定格出力	ミキシング出力: 0dBV 600Ω 平衡 (-20dBVに変更可) (ユニット側出力切替「通常」「被制御」選択時) 優先出力: 0dBV 600Ω 不平衡 (平衡入力トランス取付可) (-20dBV/-50dBVに変更可) (ユニット側出力切替「優先」選択時)
全高調波歪率	1% 以下(1kHz 定格時)
周波数特性	50Hz~20kHz(偏差±3dB)
入力感度及びインピーダンス	ユニット入力: -22dBV±3dB 10kΩ 不平衡 録音入力: 0dBV±3dB 10kΩ 不平衡 ピンジャック
信号対雑音比	70dB以上
外装	パネル : 銅板、マンセルN1 近似色 ブラック半艶塗装 後面/カバー : ビニールラミネート銅板 マンセルN1 近似色 黒
寸法 / 質量	幅 424mm 高さ 102mm 奥行 313mm / 約 4.5kg
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、AC電源ケーブル(2m) 1

外観寸法図 (単位: mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 通話料無料

お客様ご相談センター

受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日除く)

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334 (通話料がかかります)

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、
ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。
個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を
除き、第三者に提供または開示いたしません。

ユニットケース BUX-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 ご住所 〒 電話() - 見本 様
販売店	店名・住所 電話() - 印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)